

平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 3 回幹事会議事録

日 時：平成 29 年 9 月 12 日（火）14:00～17:30

場 所：川田工業株式会社九州営業所 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，大久保幹事，葛西幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，平幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，杉岡事務局

配布資料：

- 幹 3-0 平成 29・30 年度複合構造委員会第 3 回幹事会議事次第
- 幹 3-1 平成 29・30 年度複合構造委員会第 2 回幹事会議事録（案）
- 幹 3-2-1 【メール審議の結果報告】「平成 29 年度 複合構造委員会 予算案」について
- 幹 3-2-2 H29 年度委員会予算（案）
- 幹 3-2-3 H29 年度委員会予算執行状況
- 幹 3-3 第 1 種小委員会設置見直し案
- 幹 3-4 平成 29 年度年次学術講演会（共通セッション）
- 幹 3-5 平成 29 年度年次学術講演会（研究討論会）
- 幹 3-6-1 第 12 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム開催のお知らせ
- 幹 3-6-2 第 12 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムプログラム案
- 幹 3-7 （欠番）
- 幹 3-8 複合構造委員会出版物販売状況
- 幹 3-9 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 3-10 （欠番）
- 幹 3-11-1 「基礎からわかる複合構造－理論と設計－」次期出版に向けて
- 幹 3-11-2 H103 書籍作成小委員会－出版事業課からの宿題
- 幹 3-11-3 「基礎からわかる複合構造」査読意見とその対応
- 幹 3-12 （欠番）
- 幹 3-13 （欠番）
- 幹 3-14 （欠番）
- 幹 3-15 （欠番）
- 幹 3-16 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 3-17 （欠番）
- 幹 3-18 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 3-19 （欠番）
- 幹 3-20-1 H106 平成 29 年度出版企画書案
- 幹 3-20-2 「FRP による構造物の補修・補強指針」目次（案）
- 幹 3-20-3 「FRP による構造物の補修・補強指針」販売促進活動計画書
- 幹 3-21 （欠番）
- 幹 3-22 H214「維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会」の活動期間の延長について
- 幹 3-23 共催における行事決算及び拡充支援金の考え方
- 幹 3-24 既設合成桁の更新に関する設計・施工技術小委員会（第 2 種小委員会）設立趣意書（案）

- 幹 3-25 分野横断型新分野設立に関する意見交換会の開催について
- 幹 3-26-1 土木学会在庫図書の処分について
- 幹 3-26-2 平成 28 年度決算による廃棄損明細書
- 幹 3-27-1 平成 29 年度土木学会賞候補の推薦について
- 幹 3-27-2 平成 29 年度土木学会賞候補（研究業績賞，論文賞，論文奨励賞）の募集
- 幹 3-27-3 複合構造委員会による土木学会各賞等の候補推薦細則
- 幹 3-28 E-learning について
- 幹 3-29 重点研究課題について

議事内容：

1. 委員長挨拶

西崎委員長より，幹事会開催にあたり挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第 2 回幹事会議事録案確認（資料 幹 3-1）

川端幹事より，資料に沿って説明がなされ，議事録として承認された。

3. 平成 29 年度委員会予算と予算執行状況（資料 幹 3-2-1～3-2-3）

溝江幹事長より，資料に沿って説明があり，予算案がメール審議で承認されたこと，および予算執行状況について確認がなされた。

4. 共催における行事決算及び拡充支援金の考え方（資料 幹 3-23）

杉岡事務局より，資料に沿って説明がなされた。

- ・ 「第 1 回橋梁技術温故知新セミナー」に関して，行事番号が 1 つでないといけなことから，平成 29 年度行事決算会計事務の都合上，複合構造委員会が総取りとなる。平成 30 年度拡充支援金配分は，複合構造委員会と鋼構造委員会との間で任意に決めることができ，今回は鋼構造委員会と折半することを鋼構造委員会に提案する。
- ・ 今後の行事では，拡充支援金配分については，共催する委員会の貢献度に応じて，ケースバイケースで判断することとした。
- ・ 委員会活動度個別調査書の参加者数については，共催する委員会で折半することが明文化されている。

5. 第 1 種小委員会設置見直し案の部分変更（資料 幹 3-3）

溝江幹事長より，資料に沿って説明がなされた。タスクフォース的委員会の位置づけについて次の文言を修正することについて審議し，承認された。

- ・ 「成果の概要を，親委員会および示方書小委員会に報告する。」を削除し，「成果報告書を作成し，幹事会を通して示方書小委員会に提出する。示方書小委員会が同報告書を受理した時点で活動終了。成果の概要を，親委員会に報告する。」を追加する。
- ・ また，親委員会での報告時に報告書を回覧する。

6. 平成 29 年度全国大会・年次学術講演会（資料 幹 3-4）

広瀬幹事より，資料にもとづき，9/11 と 9/12 の複合構造物のセッションの開催状況について報告がなされた。

7. 平成 29 年度全国大会・研究討論会（資料 幹 3-5）

溝江幹事長より，9/13 開催予定の研究討論会について案内があった。

8. 第12回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹3-6-1,3-6-2）

大久保幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 11/9～11/10 でシンポジウム、11/8 に見学会を開催予定である。
- ・ 11/10 に西崎委員長に特別講演を行っていただく予定である。

9. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造

橋本幹事より説明がなされた。

- ・ 展望論文については、横田弘先生、長井正嗣先生に依頼することとなった。依頼の際には、特集号における展望論文の意義を著者の先生方に説明することにした。
- ・ 論文査読の担当委員は、9月26日小委員会で審議することとした。また、担当委員選定に必要な論文アブストラクトについては、建築側から小委員会にもらえるか松本幸大委員に確認をとることとなった。

10. 出版関係報告（資料 幹3-8）

大久保幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 複合構造レポート 9～12 が、未だ原価回収部数に到達していない状況であるので、販売促進が必要である。
- ・ 複合構造標準示方書・設計編についても、原価回収部数にあと50部程度であるので、次期改定を見据えて、あと1年程度で原価回収部数に到達させる必要がある。

11. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

斉藤（成）幹事および牧幹事より説明がなされた。

- ・ 設計編において、疲労に関して、150番台の小委員会を立ち上げることを検討中である。ターゲットは鋼の疲労であるが、FRPの疲労についても検討してほしい。10/31の幹事会までに趣意書を作成し、幹事会に提出する。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（資料幹3-11-1～3-11-3）

葛西幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 出版事業課からの、シリーズ番号およびタイトルに関する問い合わせについては、「複合構造シリーズ08号 基礎からわかる複合構造－理論と設計－〔2017年版〕」とする。
- ・ 次回の親委員会で査読意見に対する結果報告を行う。
- ・ 英語版作成の検討にあたり、複合示方書に関係しない理論部分だけを抽出したものにもすることも一案である。葛西幹事が、理論部分だけでのボリューム調査を実施することになった。

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

中村幹事より説明がなされた。

- ・ 現在原稿を執筆中である。9月末に原案を見直し、10月中旬に小委員会幹事会を開催し、10月末に小委員会案を完成させる予定である。

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

平幹事より説明がなされた。

- ・ 8/30に最終小委員会を開催し、報告書案を確認した。9月末までに報告書原稿を取りまとめ、10月中旬に報告書を提出する予定である。

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事より説明がなされた。

- ・ 8 月末に原稿が完成し、9/7 に幹事会の通読が終了した。現在、原稿の修正を行っており、9/20 に脱稿予定である。また、12/21 に報告会を開催する予定である。

(6) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事長より説明がなされた。

- ・ 先週土木研究所にて小委員会を開催した。
- ・ 本日の議題で、大西小委員会委員長より継続申請の説明がなされることが報告された。

(7) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 3-16）

川端幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 1 名の委員（谷口望委員）の追加があった。

(8) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本幹事より説明がなされた。

- ・ 10/20 に第 5 回小委員会を開催する予定である。
- ・ 2 期目を念頭において、1 期末での報告書はまとめない予定である。

(9) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料 幹 3-18）

平幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 9/5 に第 2 回小委員会を開催した。
- ・ 2 名の委員の追加（阪神高速道路と名古屋高速道路）があった。

(10) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

橋本幹事より説明がなされた。

- ・ 第 2 回小委員会を 11 月に開催予定である。

12. 平成 29 年度出版企画

(1) H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会（資料 幹 3-20-1～3-20-3）

中村幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 書籍名は、「FRP による構造物の補修・補強指針（案）」と（案）を付けることとした。
- ・ 売上見込部数が現在 500 部であるが、700 部にできないか検討することとした。

(2) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本幹事より、今年度は出版計画がないことの報告がなされた。

13. 新規小委員会の設立（資料 幹 3-24）

大久保幹事より、資料に沿って、「既設合成桁の更新に関する設計・施工技術小委員会」（第 2 種小委員会）の設立趣意について説明がなされた。

- ・ 委員長候補は大垣委員、幹事長候補は大久保幹事である。
- ・ 小委員会のターゲットを明確にし、活動内容をもう少し具体的にして、再度、次回幹事会に設立趣意書を提出いただくことにした。

14. 分野横断型新分野設立に関する意見交換会（資料 幹 3-25）

溝江幹事長より、資料にもとづき、経緯の説明がなされ、牧幹事より、本日開催された意見交換会の報告がなされた。

- ・ 土木学会調査研究部門における、構造、水理、地盤、計画、コンクリート、建設技術マネジメント、環境・エネルギーの 7 つの分野に加えて、分野横断型の新しい分野を設立することに関する意見交換会が開催された。
- ・ 方向性や組織などの具体的な事項は、まだ定まっていない。
- ・ 今後は、継続して意見交換会を設け、各委員会から意見を聞きながら、地震工学委員会を中心に分野横断型新分野設立について骨子づくりを始める予定である。
- ・ 9 月末までに骨子づくりに参加を希望するかどうかを返答する必要があるが、複合構造委員会としては、もう少し方向性が定まるまで傍観することとした。

15. 土木学会在庫図書の処分（資料 幹 3-26-1、3-26-2）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 3 年度連続で資産価値なしとなった「複合構造 R04 事例に基づく複合構造の維持管理技術の現状評価」は、平成 30 年 3 月末に廃棄処分となる。
- ・ 処分対象図書は、土木学会誌平成 29 年 10 月号にて会員へ案内され、希望する会員へ無料で贈呈される。
- ・ 指針類は、廃棄処分になっても、会員がアクセスできるような仕組みが必要であるので、どのような仕組みが可能か今後検討していく必要がある。

16. 平成 29 年度土木学会賞候補の募集（資料 幹 3-27-1～3-27-3）

溝江幹事長より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 論文賞、論文奨励賞は、特集号編集小委員会が 1 編ずつ推薦する予定である。
- ・ 研究業績賞は、今年度は第Ⅵ部門、第Ⅶ部門、第Ⅷ部門が対象であり、複合構造委員会としては推薦しない。

17. H214 防水・排水小委員会継続申請（資料 幹 3-22）

大西小委員会委員長より、資料にもとづき、小委員会継続申請がなされ、継続は承認された。また、今後の委員会活動に関して、以下の意見が出された。

- ・ 防水・排水デバイスの要求性能と評価方法について検討すべきである。
- ・ 沖縄での暴露試験については、委員会活動終了後も継続が必要であれば、可能な限り継続すべきである。

18. その他

(1) その他の議題

時間的な制約により、本日審議予定であった、e-ラーニング、新設小委員会、重点研究課題、英訳化などの議題は、次回の幹事会に持ち越すこととなった。

(2) 次回幹事会

第 4 回幹事会は、平成 29 年 10 月 31 日(火)14:00～17:00 の予定で土木学会にて開催する。

以 上
(記録・文責：北根)